

事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和4年 3 月 28 日

事業所名 わくわくスクールふじみ野校

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	事業所としての改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	子どもたちが来所して支援を始める前の時間で、業務の効率化について聞くようになっている。振り返りについては時間を設けて、検討することになっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートの後には、フィードバックが必ず行われている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			虐待防止や身体拘束等の件で行われる研修に参加するように声がけするようになっている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			担任制をしいているわけではないが、よく受け持つお子様について聞いたり、どうしたら良いかを皆で話す機会を設けるようになっている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			文字のみでなく絵や表も一緒に載せることで、状況を分かりやすくする工夫をしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			グループワークや土曜日の外出やイベント等について、会議を定期的に行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			日々グループワークの内容が変わり、全て同じにならないようになっている。ただ子どもが見通しが持てるよう内容をパターン化しつつ、変化の取り組みを行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			学校のある日と長期休暇とでは行えることの幅に違いがあるため、弾力的に支援をしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			基本のプログラムは押さえつつも、それに固執することなく、子どもの特性に応じて組み合わせられるよう配慮している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			その日の事だけでなく、前日までに保護者から伺って注意や配慮すべき点を共有するためにも打ち合わせをするようになっている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			出来ない所もあるし、一日様子を見た方が良い場合は、敢えてやらない時もある。すぐ共有すべきことは、その日のうちに振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			どのような支援を行ったのか分かるよう1人1人記録し、内容を把握している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行うことで、目標達成と新たな課題が見えてくると思うので、必ず見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	設立以来まだ該当する生徒がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修がある時は、広く周知して出来るだけ研修を受けられるような雰囲気作りを心がけている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			土曜日に児童館をりようしている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			支援が終わり保護者が来られる時に、状況をお伝えしている。発育についての疑問や課題にもお話している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ペアレント・トレーニングの直接の支援というよりは、講座の紹介をしている。発達障害者総合支援センター等から届く研修の紙を配布する際、保護者に紹介している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約をする段階で、説明をして理解して頂けるようにしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			アセスメント以外に来所でも電話でも相談を受けするようにしている。その際提案や助言をすることがあるが、決して押しつけにならないよう心がけている。保護者が1人で抱え込まないよう配慮している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	コロナの影響もあり、今までの所実施出来てないが、今後実施していきたい。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			伝達の行き違い等のミスや、誰が責任を持って、その仕事（検定のお手続き）を行うのか不明瞭なことがあった時に、今後起きないように取り決めに新たにした。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月利用者と保護者向けにわくわく通信を発行し、子どもたちの様子や活動内容等をお伝えしている。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			相手の立場に立って、どう捉えられるかを考えて言葉に出すようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
		39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			決められている回数に行えている。訓練も説明だけに終わらず、練習している。
		40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			時間を取って開催している。その日に参加が難しい先生には資料を配布している。
		41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			来年度より委員会を設置して、実施していく予定。
		42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			利用を開始する際には、必ずアレルギーの有無を確認して、食べ物を提供する際には注意している。
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				
合計数			38	2	3		